



第 115 号

石田 郁雄
KCCN 副理事長
司法書士

認知症になった母

同居している高齢の母が、ある朝、布団から出られなくなり、私が起こして動かすこともできないので、救急車を呼んで病院に運んでもらうことになりました。普通に会話できているし、急病を発症したわけではないのに、です（緊急事態でないので、こんなことで救急車を呼んでもいいのか、多少迷いましたが）。

それまで、歩くのが困難になり、家の中ではつかまり歩きをするか、四つん這いで移動するなどし、体の不自由さはあったものの、日常生活は食事も排泄も自分で普通にできていたし、大きな病気もしていませんでした。布団から出られなくなったことについては、これまでも日常生活の中で何回か、体が固まって動けなくなったことがあったのです。でもその時は、お茶を飲んだり、何か食べたりして休養したら動けるようになったので、今回も、しばらく休んだら動けるだろう、と気楽に思い、様子を見ていたので、救急車の要請までに時間がかかりました。

大学病院に運んでもらい、そこで体（特に脳）に異常がないかが検査されました。救急隊員から病院へ「高齢の女性が倒れていた」と通報されたようで、脳梗塞などが懸念されたものと思われます。しかしMRIで検査しても異常は見つかりませんでした。

大学病院で体が動くようになった母ですが、まだ歩くのがままならないし、また同じことになっては困るので、大学病院からリハビリをしてくれる病院を紹介してもらい、その日のうちに入院しました。

リハビリ病院では歩行器を使って、廊下を何回か往復するなど歩く練習をしていたようで、本人も歩くことに意欲を見せていました。

しかし、私が面会に行って会話しても、不思議なことを言うことが増えました。何年も前に亡くなった父のことを、元気に仕事しているか、と聞いたり、今から〇〇〇（母の実家の住所）へ帰るのか、などと言ったり。

先ほど、母は大きな病気をしていないと書きましたが、実はここ最近、認知症を疑わせる言動が見えていたのです。簡単な計算ができなくなる、お風呂でシャワーの使い方がわからなくなる、ご飯を食べた後の残り物を、冷蔵庫に入れるべきところ、流し台の下に仕舞う、など。

明らかに認知症の初期症状と思われたので、私は何回も、診察してもらいに病院に行こう、と言ったのですが、医者嫌いの母は行くのを拒みました。以前に私の知り合いの看護師の方に相談した際に、そろそろ介護が必要になるから、介護保険の認定を受けないといけない。そのために診察してもらうことが必要、と聞いていたので、その意味でも医師に診てもらう必要があったのです。

そうしたところに今回のことが起きました。私にとっては医者嫌いの母を病院に連れていく格好の機会となったわけです。リハビリ病院の主治医によると、体が固まって動かなくなる現象も認知症によるもの、とのこと。また看護師さんによると、母は、家に小学3年生の息子がいる、と話していたそうです（私は56歳です）。

ちなみに母は90歳です。長寿なのはもとより、よくこの年齢まで認知症にならずにいたものだ、とも思うのですが、反面、認知症を思わせるようになってからはあつという間に症状が進んだ気がします。半年前には普通にできていたことが、今はもうできなくなっている。そう考えると、認知症は進行性の重い病であると実感させられます。

私は成年後見人として何人かの認知症の高齢者と接してきました。しかしそれは皆、重度の認知症になってからお会いした方たちでした。それに対し、身内の者が、全く正常な状態から徐々に認知症になっていく経過を見るとなると、私も多少なりショックを受けざるをえませんでした。ただ、私の同業者（司法書士）にその話をしてみても、90歳だからしかたないよね、という反応。まあそうですね、私も客観的に考えたなら、一般的によくある話なわけですし。そう思うと、私も特に気にならなくなりました。むしろ、認知症になる過程をつぶさに見られたことは、多少なり、私の今後の業務に活かせるのではないかと思ったりします。

母は、たまにおかしな発言はするものの、私の話すことを理解して返事をしてきますし、認知症とは思えないほど理屈の通った話をしたりするのです。いわゆる「まだら認知症」という状態でしょうか。しかし判断能力は明らかに落ちているので、仮に母が一人暮らしをしており、運悪く悪質業者や特殊詐欺犯に出会ってしまったなら、簡単にその毒牙にかかっていたことでしょう。見守る人が近くにおらず、成年後見制度を利用していない高齢者が、いかに危険な状態であるかが、改めて認識されます。

母は要介護3の認定が下り、施設に入所することになりました。母にとって家に帰れないのは残念でしょうけど、残りの人生を少しでも豊かに楽しく過ごしてもらいたいと願っています。

(2024年1月)